

LOOKING AT ARCHITECTURE 2025

建
物
公
開
2
0
2
5

時
を
紡
ぐ
館

展
覧
会
ガ
イ
ド
ブ
ック

Uncovering the layers of time.



Shaped by eras, transformed by time.



EXHIBITION GUIDEBOOK

A MANSION'S MANY ERAS

Yōkichi Gondō's world travels

建築技師・権藤要吉の世界旅行

1925年(大正14)2月17日正午、福岡・門司からイギリスへ向けて出発した賀茂丸。のちに朝香宮邸を手掛ける権藤の建築・博物館研究旅行が始まりました。約1か月の船旅を経て、4月から7月にかけ滞在したイギリスでは約50施設を見学。その後11月初頭まで、フランス、ベルギー、オランダ、ドイツ、チェコスロバキア、スイス、オーストリア、ハンガリー、イタリアを巡ります。12月のアメリカ滞りも含めると、計160施設あまりを訪れました。権藤は帰国が近づくなか、これから建築技師として自らが担うべき姿について、決意を新たにします。

「歴史をもう一度よく見て、

建築材料をよく調べろ。

デッサンと建築をもう少し接近させて

所謂何物にもよらず大小は別として、

よい建物を作ること努めろ事、

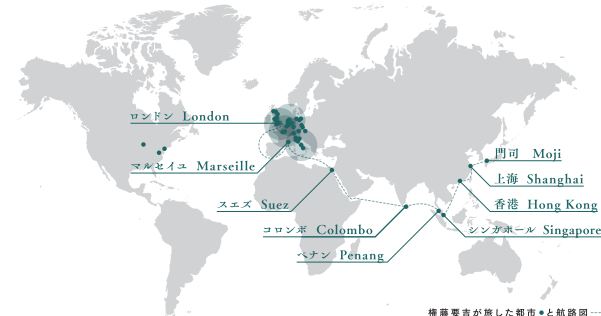
多くの人にすすめる事。

もう模倣時代はすぎた日本の創作時代。」

《権藤要吉 渡航日記》1925年10月30日より



絵草書「現代裝飾美術・産業美術国際博覧会」1925年頃



権藤要吉が旅した都市・と航路図

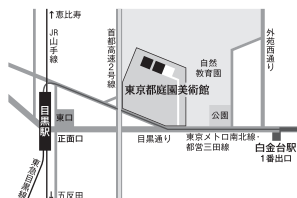
INFORMATION

会期 2025年6月7日(土)～8月24日(日)
開館時間 10:00～18:00(入館は開館の30分前まで)
※9月15日、22日は21:00まで(最終入館20:30)
休館日 毎週月曜日
※ただし、7月21日、8月11日は開館。7月22日、8月12日は休館。
[Exhibition period] Saturday, June 7–Sunday, August 24, 2025 [Hours] 10AM–6PM Last admission at 5:30PM [August 15 and 22 late-night opening until 9PM (Last admission 8:30 PM) | Closed] Mondays (except July 21, August 11), July 22, August 12

主催 東京都、
公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
年間協賛 戸田建設株式会社、ブルームバーグ L.P.
Organized by Tokyo Metropolitan Government, Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture, Tokyo Metropolitan Teien Art Museum With the co-sponsorship of Toda Corporation, Bloomberg L.P.
Bloomberg Van Cleef & Arpels

住所 東京都港区白金台5-21-9
アクセス (自民駅) JR山手線 東口、東急目黒線 正面口 徒歩7分(白金台駅) 都営三田線、東京メトロ南北線 1番出口 徒歩6分
[Venue] 5-21-9, Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo
[Access] [[Meguro Station] 7 minutes walk from JR Yamanote Line East Exit, Tokyu Meguro Line Main Exit[[Shirokanedai Station] 6 minutes walk from Toei Mita Line, Tokyo Metro Namboku Line Exit 1

観覧料 一般1,000(800)円、大学生(専修・各種専門学校含む)800(640)円、高校生・65歳以上500(400)円、中学生以下無料 ()内は20名以上の団体料金
Adults ¥1,000(¥800) College and vocational students ¥800(¥640) High school students and Seniors(65 and over) ¥500(¥400) Figures in parentheses are group admission fees(for groups of 20 or more)



SATELLITE EXHIBITION

サテライト展示
「交わる建築 旧公衆衛生院×旧朝香宮邸」
Satellite Exhibition: Intersecting Architectures—Former Institute of Public Health×Former Residence of Prince Asaka
東京都庭園美術館に近接し、同時代の建築である港区立郷土歴史館(旧公衆衛生院)との本展コラボレーション展示もぜひご覧ください。
会期 2025年6月13日(金)～8月20日(水)
会場 港区立郷土歴史館 4階ギャラリー(当館より徒歩10分)

開館時間 9:00～17:00(土曜日のみ20:00まで開館)
休館日 毎月第3木曜日(祝休日等の場合は前日)
観覧料 無料
[Dates] Friday, June 13–Wednesday, August 20, 2025 [Venue] Minato City Local History Museum, 4th floor gallery(10-minutes walk from the Teien Art Museum) [Hours] 9:00–17:00 (open until 20:00 on Saturdays only) [Closed] Third Thursday of each month (or day before in case of national holiday) [Admission] Free



画像提供: 港区立郷土歴史館

14

years

朝香宮邸時代

1931年(昭和6)に着工し、アンリ・ラパンが主要各室の内装を担当。宮内省内匠寮が設計を担い、1933年(昭和8)に竣工。

1933 - 1947

7

years

外相・首相公邸時代

1947年(昭和22)から吉田茂が外相・首相公邸として使用。第五次吉田内閣総辞職まで居住。

1947 - 1954

19

years

白金迎賓館時代

政府が公式に世界各国からの来賓を接遇する場として機能。賓客が宿泊する場所としても使用。

Witness to history
as it unfolds紡ぐ歴史、
その証人

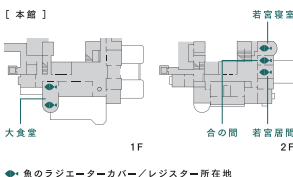
旧朝香宮邸(現・東京都庭園美術館本館)の装飾は、水の流れをベースに、花や草木、小鳥や魚といった森羅万象の姿が表現されています。主要各室の内装を手掛けたラパンは、水の流れがまるで各部屋を繋いでいるかのような空間を構築しました。この装飾プランを汲み取った内匠寮の技師たちが手掛けた鋳物装飾に注目してみましょう。暖房器具の「魚のラジエーターカバー」は、賓客をもてなすパブリックスペースとされた本館1階の「大食堂」にみられる一方、家族のプライベートルームとされた本館2階の「若宮寝室」などでもみられます。大きな邸宅空間の中を、自由に行き来する魚たちの。この建物における幾重もの時代の流れをみてきたといえる、大切な存在です。



朝香宮邸新築工事録 第3巻
付録「若宮御寝室ラジエーター」
宮内庁宮内公文書館所蔵



魚のラジエーター
カバー



● 魚のラジエーターカバー/レジスター所在地

1955 - 1974

7

years

白金プリンス迎賓館時代

現在の迎賓館赤坂離宮に国の迎賓館としての機能を移管後、白金プリンス迎賓館として、民間催事施設となる。

1974 - 1981

1983 - 2025

The Shirokane
Guest House
welcomes state guests世界各国から
国賓を迎え入れた
白金迎賓館

1952年(昭和27)4月にサンフランシスコ平和条約が発効され、日本が主権を回復してからは、世界各国より多くの国賓や公賓を、この白金迎賓館に迎え入れました。

国賓のスケジュール(抜粋)

滞在期間: 1963年(昭和38)5月27日～6月5日
国名: タイ王国
国賓: プーミポン・アドゥンヤデート国王陛下、シリキット王妃陛下

5月27日 午後 特別機で羽田着 白金迎賓館に宿泊
5月28日 午前 御料儀装馬車(皇居ご参入の際に使用する専用馬車)で移動
皇居にて天皇・皇后両陛下と御会見
御料自動車(皇居ご退出の際に使用する専用自動車)で移動
白金迎賓館にて池田首相が国王に表敬
現・大客室にて東京都知事から国王に「東京都の鍵」贈呈
午後 新館(現存せず)にてラジオ・テレビなどを通じメッセージ発表
移動
歌舞伎座(設計:吉田五十八)にて歌舞伎を観覧
移動
白金迎賓館にて宿泊

5月29日 午前 現・大食堂にて王妃のいけばな体験



儀装馬車で皇居へ向かう様子
「国賓訪問記念写真アルバム ペアトリックス・オランダ内親王殿下
第1巻」(1963年4月1日), L1.5.0.0.1-31, 外務省外交史料館

※「アジア諸国君主及び王族本邦訪問関係雑件
プミポン・アドゥンヤデート・タイ国王王妃両陛下関係 第3巻」
(1963年2月1日), L1.1.1.2.3-2, 外務省外交史料館

東京都庭園美術館

1981年(昭和56)に東京都の所有となり、1983年(昭和58)に美術館として開館。2015年(平成27)に国の重要文化財に指定。

2025年(令和7) 現在に至る

42

years